

SOC230 ジェンダー論入門

2年 3,4クォーター

担当教員 羽田野 慶子

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 要素を含む

単位数 2

曜日・時限 木曜日・2時限

授業概要

社会的・文化的に構成された性という意味合いで用いられるジェンダーの概念は、私たちが自明視している「男性」「女性」という性の二分法と、それに基づく異性愛主義を相対化し、人間一人ひとりの多様な生き方を尊重するために必要な知識・教養の一つである。

この授業では、ジェンダー概念を日常的な実践と結びつけながら学習する。家族、労働、教育、体育・スポーツ、身体各領域における様々なジェンダー問題を理解し、人々の多様な生き方を認め合うジェンダー平等社会の構築に向けて、自らの日常的な実践をとらえなおすことをねらいとする。

到達目標

- (1) ジェンダー概念を正しく理解し、ジェンダーの視点で社会問題を読み解く方法を身につける。
- (2) 特定の領域におけるジェンダー問題について、現状と問題点を整理し、ジェンダー平等の実現に向けて考察する。

先修科目

共通教育科目 ジェンダー論

教科書・参考資料等

教科書：

- (1) 千田有紀・中西祐子・青山薫，2013，『ジェンダー論をつかむ』有斐閣。
- (2) 内閣府男女共同参画局，『男女共同参画白書』各年度版。

参考書：

- (1) 伊藤公雄・樹村みのり・國信潤子，2011，『女性学・男性学 ジェンダー論入門』（改訂版），有斐閣。
- (2) 杉本貴代栄（編著），2010，『女性学入門』ミネルヴァ書房。
- (3) 江原由美子，2001，『ジェンダー秩序』勁草書房。
- (4) レイウイン・コンネル，2008，『ジェンダー学の最前線』世界思想社。

授業の方法

授業は講義形式を基本とするが、各回のテーマに基づき、一部ディスカッションを取り入れる。

成績評価

ディスカッションへの参加状況、および最終レポートの内容を総合して評価する。

成績

- | | |
|-----|----------------|
| 50% | ディスカッションへの参加状況 |
| 50% | 最終レポート |

授業スケジュール

第1回：オリエンテーション

ジェンダーに対する理解度を受講生同士で確認するとともに、ジェンダーを学ぶ意味について意見交換を行う。

第2回：性別をとらえなおす（1）

セックスとジェンダーの概念的な区別の仕方、フェミニズム思想における概念の発展について学ぶ。

第3回：性別をとらえなおす（2）

セクシュアリティの概念を学び、セクシュアル・マイノリティに対する理解を深めるとともにヘテロセクシズムが支配する社会の問題性を把握する。

第4回：家族とジェンダー（1）

近代家族の歴史的成立過程を学び、性別役割分業による家族と社会の相補的關係性を理解する。

第5回：家族とジェンダー（2）

未婚化・少子化する社会の現状を学び、多様な家族のあり方をふまえた社会制度の必要性について議論する。

第6回：労働とジェンダー（1）

男女の働き方の変化を概観し、賃金格差や非正規労働問題など、労働におけるジェンダー問題を学ぶ。

第7回：労働とジェンダー（2）

男女雇用機会均等法から女性活躍推進法まで、労働におけるジェンダー平等をめざす法制度の流れを概観し、性別職務分離など、職場におけるジェンダー問題を理解する。

第8回：教育とジェンダー（1）

平等であるべき学校教育において、様々な形で性別により異なるメッセージを伝える「かくれたカリキュラム」があることを学ぶ。

第9回：教育とジェンダー（2）

学校教育の近代史をジェンダーの観点から概観し、学校がジェンダーの再生産機能を持つとともに変革を促す役割を併せ持つことについて理解を深める。

第10回：体育・スポーツとジェンダー（1）

「身体的性差」の存在を前提にジェンダーによる厳密な区別が適用されている体育・スポーツの領域におけるジェンダー問題を概観する。

第11回：体育・スポーツとジェンダー（2）

学校体育の近代史をジェンダーの観点から概観し、体育・スポーツという身体に関わる領域が男性優位のジェンダー神話の維持に利用されてきたことを理解する。

第12回：身体とジェンダー（1）

リプロダクティブ・ヘルス／ライツをめぐる議論を概観し、生殖に関わる女性の性が国家管理の対象とされてきた歴史を理解する。

第13回：身体とジェンダー（2）

買春問題の語られ方とセックスワーク論の展開を概観し、ジェンダー非対称な性の二重基準の問題性を理解する。

第14回：身体とジェンダー（3）

性暴力問題において、被害者側の「落ち度」が問われ二次被害が起りやすい構造の問題性を理解する。

第15回：ジェンダー統計

ジェンダー問題の把握とその改善のためにジェンダー統計が必要であることを理解し、公開されているマクロデータをジェンダーの視点で読み取る作業を行う。

事前・事後学習

- ・ 予習：各回のテーマに該当するテキストの章を一読し、内容と論点をまとめる。（2時間程度）
- ・ 復習：テーマに関連する新聞記事、マスメディア報道、ドキュメンタリー、映画などに日常的に関心を持ち、ジェンダー平等についての自分なりの考えを深める。（2時間程度）。